



横浜みどりアップ計画市民推進会議

第24回 調査部会

当日資料



令和6年10月25日（金）

13：00～17：00

地域緑のまちづくり・中川西地区（都筑区中川）
寺家ふるさと村、寺家ふるさとの森（青葉区寺家町）



横浜みどりアップ計画

令和6年度の調査部会視察にあたって

第24回調査部会の視察では、これまでに実施した事業を視察し、現場を見ながら事業内容の説明や質疑を通じて、

- ①取組について検証※
- ②各事業の支援を受けている市民団体と直接意見交換を行って頂くように企画しています。

次の事例を参考に視察願います。

※検証のポイント〈参考〉

- 計画の柱1

市民の森：樹林地の確実な担保性、樹林地の維持管理や利活用の取組

- 計画の柱2

ふるさと村：良好な農景観の保全、市民が農を楽しむ取組

- 計画の柱3

地域緑のまちづくり：市民による緑化推進活動の支援の取組

『横浜農場』とは、
食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、
横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。



本日のテーマと視察先



集合 市庁舎 1 階 12 時 50 分

(バス移動)

視察先その 1 14 時 00 分～

●緑や花があふれる地域づくり（地域緑のまちづくり）

→中川西地区（中川緑と水と歴史をつなぐ会）

4 ページ

【参考資料】中川西地区 地域緑化計画書

7 ページ

(バス移動)

視察先その 2 15 時 30 分～

●農とふれあう場づくり（横浜ふるさと村）

→寺家ふるさと村

14 ページ

●森の維持管理（市民の森）

→寺家ふるさとの森

14 ページ

(バス移動)

解散 東急田園都市線 青葉台駅 17 時 00 分

横浜みどりアップ計画[2024-2028]の体系

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

施策1

まとまりのある
樹林地の保全・活用

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

事業② 良好な森の育成

事業③ 森に関わる多様な機会の創出

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

施策1

農に親しむ
取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

事業② 農とふれあう場づくり

施策2

「横浜農場」の展開による
地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

施策1

市民が実感できる
緑や花の創出・育成

事業① まちなかでの緑の創出・育成

施策2

ガーデンシティ横浜の
更なる推進

事業② 緑や花があふれる地域づくり

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成



効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

視察先
その1

緑や花があふれる地域づくり
地域緑のまちづくり・中川西地区
(中川緑と水と歴史をつなぐ会)



● 地域緑のまちづくり

地域緑のまちづくりとは、地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための取組を支援する事業です。

● 推進団体名：中川緑と水と歴史をつなぐ会

計 画 名：早濑川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と歴史をつなぐ
散歩道づくり
(令和4年度～令和6年度)

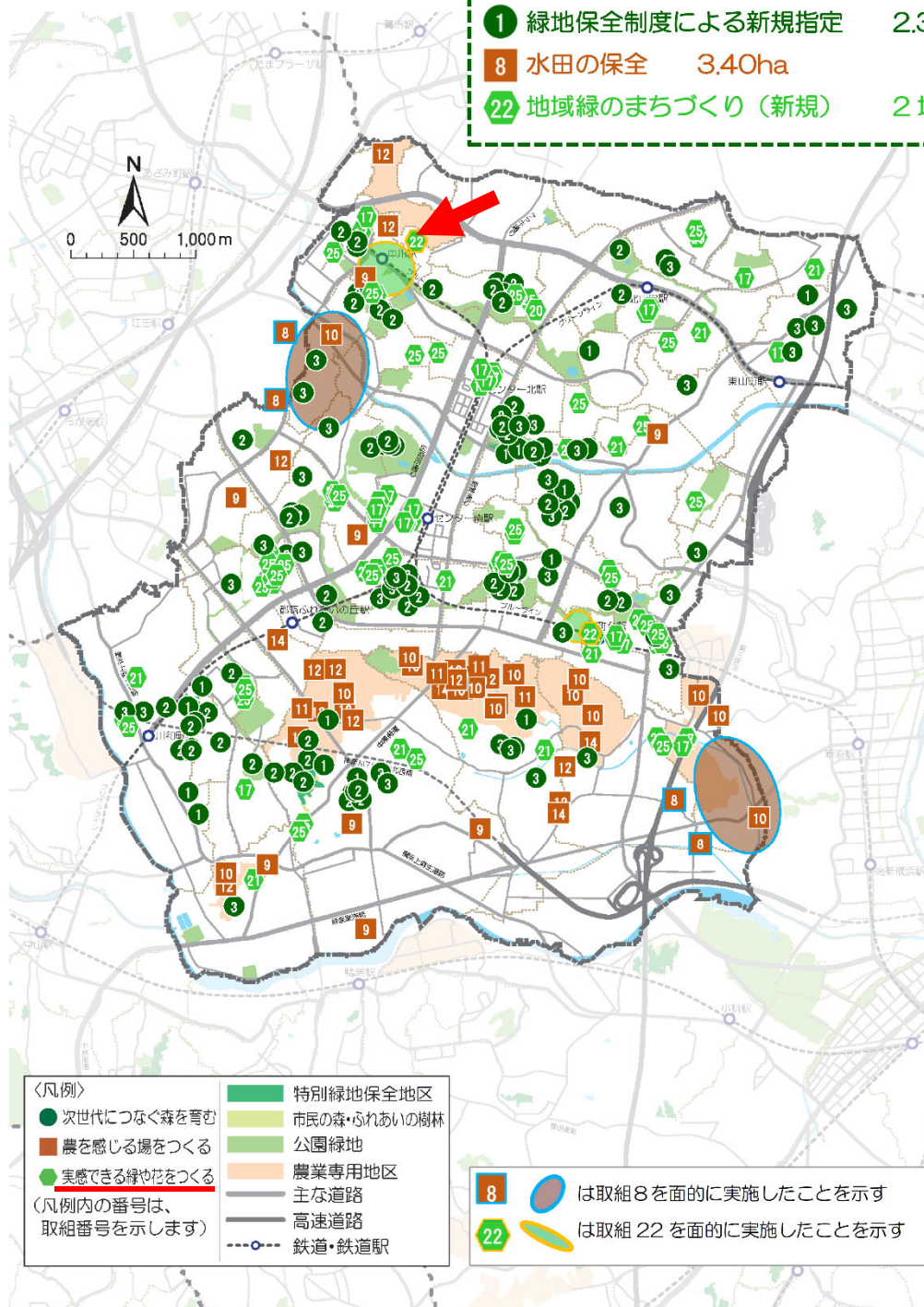
視察先① 地域緑のまちづくり・中川西地区



都筑区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 2.3ha
- ⑧ 水田の保全 3.40ha
- ②② 地域緑のまちづくり（新規） 2 地区



5 各区の実績
都筑区

18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○空き樹の補植

2023 年度	高木 8 本
---------	--------

○良好な維持管理

2019 年度	佐江戸北山田線（歴博通り）、新横浜元石川線ほか	計2,962本
2020 年度	佐江戸北山田線（歴博通り）、中山北山田線ほか	計2,397本
2021 年度	横浜上麻生線、佐江戸北山田線（歴博通り）ほか	計2,246本
2022 年度	新横浜元石川線、中山北山田線ほか	計2,003本
2023 年度	佐江戸北山田線（歴博通り）、新羽荏田線（新栄町～荏田南）ほか	計1,627本

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 1 件

2022 年度	1 件	北山田四丁目
---------	-----	--------

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・新規指定

2019 年度	9 本	南山田町（9本）
2021 年度	1 本	大棚町

・維持管理の助成

2019 年度	6 本	佐江戸町（6本）
2020 年度	11 本	池辺町（4本）、大棚町（2本）、茅ヶ崎南三丁目、仲町台四丁目、 東方町（3本）
2021 年度	3 本	大棚町（2 本）、東山田四丁目
2022 年度	3 本	大棚町（2 本）、川和町
2023 年度	3 本	東方町（3本）

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 2 地区

・新規

2021 年度	1 地区	<u>中川西地区</u>
2022 年度	1 地区	仲町台駅前地区

・継続

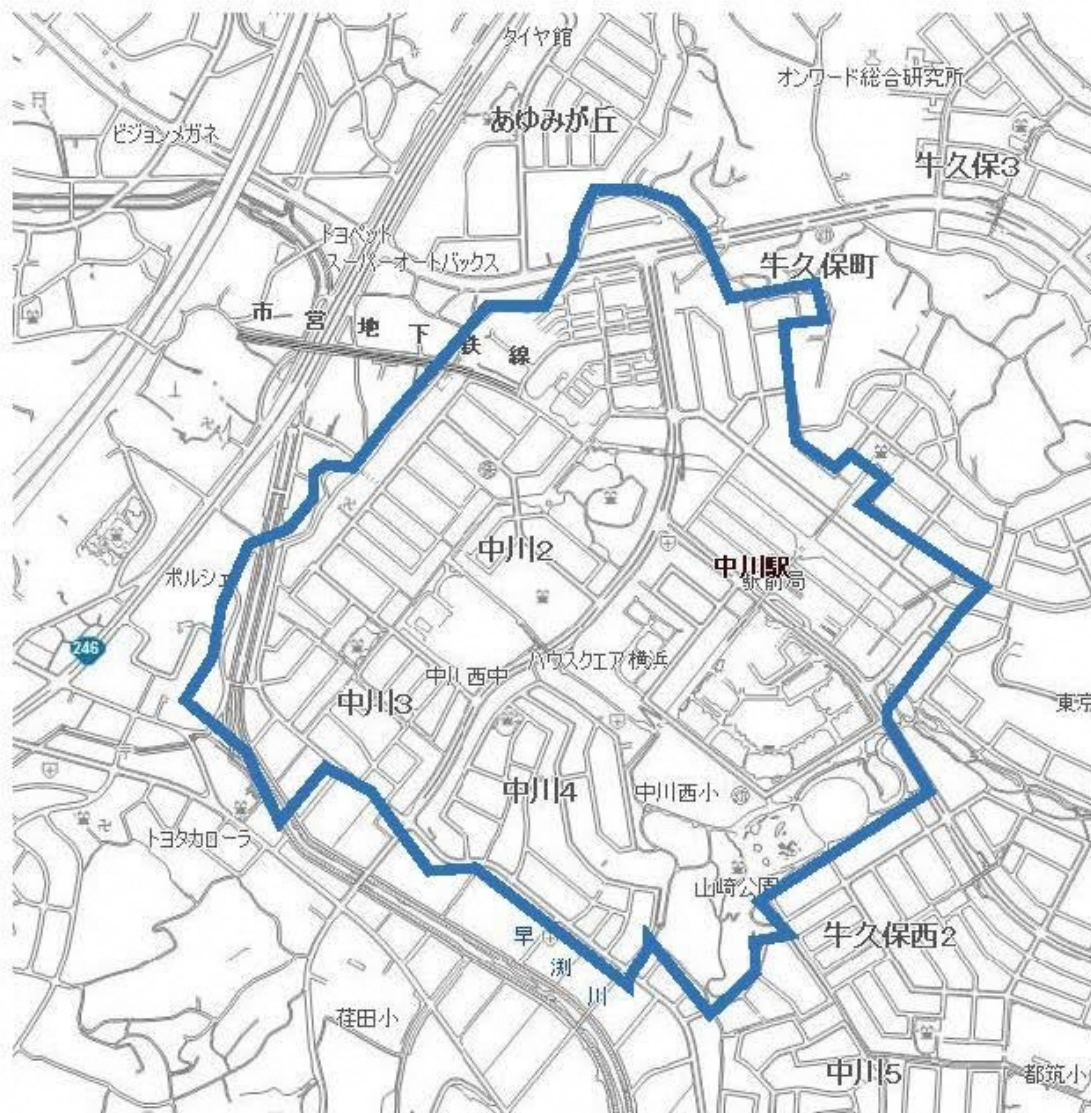
2022 年度	1 地区	<u>中川西地区</u>
2023 年度	2 地区	<u>中川西地区</u> 、仲町台駅前地区

中川西地区 地域緑化計画書

計 画 名：早渕川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と
歴史をつなぐ散歩道づくり

推進団体名：中川緑と水と歴史をつなぐ会（略称 NGWH 会）

地区の範囲



計画期間	令和4年度 ～ 令和6年度
計画の目標	<p>《提案計画の目標》 地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」づくり</p> <p>＜具体的な目標＞</p> <p>目標1：緑と水と歴史をつなぐ交点に当たる早濑川・老馬谷ガーデン（HRG）の緑を増やし、魅力をアップする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第33回全国都市緑化よこはまフェア」のレガシーとして、HRGの緑を増やし魅力アップする。 <p>目標2：中川駅から早濑川・老馬谷ガーデンまでの道沿いに花と緑のゾーンを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川駅と住宅地を結ぶ歩行者専用道路（歩専道）を中心に緑を増加し、まちを美化する。 <p>目標3：回廊を取り巻く中川西町内会エリアの住宅を緑化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へ緑化活動への参加を呼びかける。 <p>目標4：地域のつながり、地域活動の担い手の育成に取り組む</p>
課題及び背景	<p>（背景）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRGを中心とした地域の大半は、緑の多い港北ニュータウンとして開発された。その後、中心となる中川駅周辺は「ヨコハマ市民まち普請事業」による花と緑のまちづくり、早濑川沿いには「第33回全国都市緑化よこはまフェア」開催時に市民・大学・都筑区の協力で完成したHRGのように、住民参加のまちづくりが行われてきた。 ・この早濑川沿いには、旧大山街道、農業地帯もある歴史と昔の風景が残っている。 ・これらの地域の魅力をHRGを中心に緑で繋ぎ、地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」を作ることを地域で検討し構想化した。 <p>（緑の課題）</p> <p>「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」づくりを検討する過程において、下記の課題が明らかになった。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① HRGを全国都市緑化よこはまフェアのレガシーとして改善を進める必要がある。 ② 港北ニュータウンで作られた歩専道の植栽が雑草に覆われ欠損している。 ③ 早濑川沿い斜面地の住宅地は、擁壁が多く、緑を増やすと景観がよくなる。 ④ 地域住民にまちの緑の素晴らしさを伝え、新たに住民を巻き込んで、地域全体で緑の維持・発展していく必要がある。
課題解決及び効果	<ol style="list-style-type: none"> ① HRGの緑を増やすことは早濑川沿いを歩く楽しみを増加させるばかりでなく、高いコンクリート擁壁の緑化によって、川と丘上の住宅街の緑を結び付けて緑の景観を創出することが可能となる。 ② 中川駅、住宅地、早濑川を結び、通学、買い物に使われる歩専道に美しい緑を復活させることは、地域の価値を高める。 また、この活動に住民が参加することにより、土木事務所任せの緑の環境維持から、行政と住民の協業で緑のまちをつくる体制ができる。 ③ 早濑川沿い斜面地に作られた住宅地の景観が、HRG擁壁緑化、自宅の擁壁緑化により、緑多き風景に変わる。 ④ 散歩道を取り巻く中川西町内会全体で自宅の緑化活動に取り組むことは、「緑のまちをつくり、地域の価値をあげる」という地域共通の目標につながる。

組織づくり	<p>このプロジェクトを推進する「中川緑と水と歴史をつなぐ会」（つなぐ会）には、下記の団体が参加し、つなぐ会は、全体のマネージメント、イベント等を行い、目的の達成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HRG 運営会（HRG の緑化） ・ 新組織「つなぐ会ハマロードサポーター」の立ち上げ（歩専道の緑化維持） ・ 中川西中学校おやじの会（中川西中学校の緑化維持） ・ 中川西町内会（民家緑化の推進、地域への広報、資金援助） ・ NPO 法人ぐるっと緑道（地域への広報、資金集め、事務局）
計画期間中の緑化整備及び活動の概要について	<p><民有地緑化></p> <p>1. HRG の緑を増やし、魅力アップする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 道路沿いの擁壁をつる植物により緑化する。 ② 道路際の鉄パイプフェンスをつる植物と植栽で緑化する。 ③ 植物をからませたパーゴラを設置し、緑につつまれた潤いのある空間を作る。 <p>2. 中川駅から HRG までの道沿いに花と緑のゾーンを作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の参加で、歩行者専用道路の植樹帯に植栽し花壇を作る。 ② 中川西中学校の歩専道沿いの土地を学校と協力して、緑化をする。 ③ 散歩道の交点にガーデンまたはシンボルツリーを作る。 <p>3. 中川西町内会エリアの民家玄関にプランター設置、擁壁緑化の呼びかけを行い、地域全体で緑のまちづくりを行う。</p>
	<p><地域緑化活動></p> <p>4. 活動への参加が地域のつながりをつくり、活動を維持する契機となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 緑化整備した花壇、プランターの植替え等をイベントとして開催する。 ② 担い手を育成するため、植栽管理の研修会を実施する。 ③ メンバーが使用するビブス等を作成し、活動の PR を図る。 ④ 広報紙を年 3 回発行し、活動と散歩道の PR を行う。
計画期間終了後の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画期間終了後は、エリア毎の担当組織である HRG 運営会、つなぐ会ハマロードサポーター、中川西中学校おやじの会が緑の維持活動をしていく。 ・ 当該各代表者とぐるっと緑道、中川西町内会が参加する「中川緑と水と歴史をつなぐ会」は、「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」を中心テーマにして、地域の緑、早渕川、歴史の魅力を広報宣伝するとともに、イベントを開催することでエリアに親しんでもらう。また、地域活動に参加する人を増やし、「団体連絡会」などを開催することで地域団体のつながりを強化していく。さらに、プロジェクトの状況を毎年レビューし、地域にフィードバックし、その維持と今後の活動の継続に繋げていく。
資金計画	<p>(資金の捻出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅緑化の自己負担分は、原則として、整備場所の所有者の負担で実施する。 ・ 公用地の緑化にかかわる費用は以下で賄う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 町内会、企業、個人から寄付を募る。 ② 地域で開催するイベント参加費の一部を経費に充てる。 ・ 住民参加型の活動を主体として、できるだけコストを抑える。 <p>(計画終了後資金捻出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人と団体の寄付及び地域イベント収益金を運営資金に充てていく。 ・ 本会主催のイベント参加費、手作り品や収穫物の販売の収益なども資金源にする。

計画年次	計 画 内 容
1 年度目 (令和 4 年度)	<p>1. 民有地緑化 (設計等経費) 「HRG 擁壁花壇」の緑化整備のための設計・工事監理 (緑化整備等経費) ①HRG 擁壁花壇づくりと植え込み(図 1-①) ②ビオトープの緑化(図 1-その他) ③中川西中学 30 周年事業で散歩道沿いユキヤナギ植え込み(図 2-(1)-①) ④住民参加で歩専道の植栽植え込み(図 2-(2)-④) ⑤町内会館など自宅の緑化の先行モデル事例づくり(図 3-(1)-②、③)</p> <p>2. 地域緑化活動 ①楽しい活動、一体感、PR 効果をもたらすシンボルマーク(ロゴ)やビブス等購入、 ②花植え/植木講座の開催(年 3 回) ③広報紙発行(年 3 回) ④緑化維持備品の購入</p>
2 年度目 (令和 5 年度)	<p>1. 民有地緑化 (設計等経費) 「HRG 藤棚作り」の緑化整備のための設計・工事監理 (緑化整備等経費) ①HRG パーゴラを設置し、藤等のつる性植物の植え込み(図 1-③) ②住民参加で歩専道の植栽植え込み(図 2-(2)-④) ③道しるべ 寄植えのコーナーづくり(図 2-(2)-⑤) ④旧大山街道ユキヤナギの捕植(図 2-(2)-④) ⑤自宅の緑化(図 3-(1)-②、③)</p> <p>2. 地域緑化活動 ①花植え/植木講座(年 3 回) ②広報紙発行(年 3 回) ③緑化維持備品の購入</p>
3 年度目 (令和 6 年度)	<p>1. 民有地緑化 (設計等経費) 「HRG 鍛冶橋口オベリスク、子ども草地エリアづくり」の緑化整備のための設計・工事監理 (緑化整備等経費) ①HRG 鍛冶橋口オベリスク(図 1-④) ②鉄パイプフェンスの緑化(図 1-②) ③子ども遊びエリア(図 1-⑤) ④コミュニティ道路街路樹跡の植樹(図 2-(2)-④) ⑤自宅の緑化(図 3-(1)-②、③)</p> <p>2. 地域緑化活動 ①花植え/植木講座(年 3 回) ②広報紙発行(年 3 回) ③堆肥づくりエリアの改善</p>
創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「都筑区まちづくりプラン」の地域版である「中川まちづくりプラン」の具現化を図る提案である。 ・地域資産を活かし、愛される回廊づくりをテーマ中心に据えた緑化計画である。 ・地域の目標を「緑の景観」とし、価値を高め、つながりを強める活動である。 ・住民、大学、中学校、保護者及び都筑区が協力して緑化を進める活動である。

■■■ HRG を中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり

中川緑と水と歴史をつなぐ会

■ 1. 早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG)の緑を増やし、魅力をアップする

① 道路沿いの擁壁をつる植物により緑化する

擁壁下に部分的に新規花壇を作り、常緑の登攀性つる植物で擁壁を緑化する。低木と多年草の植栽を施す。



② 鉄パイプフェンスをつる植物で緑化する

単管パイプには、ネット装着の上常緑つる植物を誘引する。



③ 植物をからませたパーゴラを設置し、緑につつまれた潤いのある空間を作る

中央テラスに植栽マス併設のパーゴラを設置する、



④ 鍛冶橋入口をアピールできるように改善する

散歩道のエントランスシンボルとなる植物を絡ませたオベリスクを建てる。



⑤ 草地など子供が遊んだり、学んだり使って楽しむエリアを作る

草地内に見切り材でミステリーサークル状に花(ナノハナ・ヒマワリなど)の迷路をつくる。



■ 対象地域：中川 1～4 丁目の市街化区域および青葉区荏田町の一部



- オレンジ系道路 = 自転車歩行者専用道路
駅・学校・買い物に車に出会わずに歩いて行かれる
- コミュニティ道路
通過交通のない住宅地のなかの一番身近な道。安全でコミュニティの様々な活動をはぐむ
- 旧大山街道
最盛期の江戸中期宝暦年間(1751-64)には年間20万人が大山詣りをしたといわれる

■ 2.3. 中川駅からHRGまでの道沿いに花と緑のゾーンを作り、地域全体で緑のまちづくりを行う

(1) 道路沿いの民有地の緑化を提案する

① 学校用地斜面地の緑化

中学校斜面地は、30 周年記念として低花木を植樹する。



② 個人宅擁壁の緑化

お勧めしたい懸垂する植物や、登攀する植物の苗を配布する。



③ 個人住宅の緑化

一般道に面した個人宅に、この事業のテーマに即した苗の取り合わせのサンプルを提示し、鉢、或いは地植え、プランターで道沿いを緑化してもらう。



(2) 歩専道、コミュニティ道路の植栽マスの緑化

④ 欠損部の補植

周囲の植栽と併せた 低木を補植し、歩専路植樹帯の緑を復活する。



⑤ 道しるべ

自転車歩行者専用道路や、コミュニティ道路の一角に、散策路を想起させる寄植えのコーナーを設ける。



概算事業費（単位：千円）（注1, 5）

助成項目	細目	1年度目（令和4年度）	2年度目（令和5年度）	3年度目（令和6年度）	項目ごとの合計		※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	500	500	200	1,200		100%以内	
		(主な内容) 「HRG擁壁花壇」の緑化整備のための設計・工事監理	(主な内容) 「HRG藤棚作り」の緑化整備のための設計・工事監理	(主な内容) 「HRG鍛冶橋口オベリスク、子ども草地エリアづくり」の緑化整備のための設計・工事監理				
	②緑化整備等経費 (注2)	5,000	5,020	2,750	12,770		90%以内	
		(主な内容) ①HRG擁壁花壇（図1-①） ②HRGビオトープの緑化（図1-その他） ③西中30周年記念植樹（図2-(1)-①） ④歩専路植栽樹の緑化（図2-(2)-④） ⑤自宅の緑化（図3-(1)-②, ③）	(主な内容) ①HRG藤棚作り（図1-③） ②歩専路植栽樹の緑化（図2-(2)-④） ③歩専路道標シンボルツリー（図2-(2)-⑤） ④旧大山街道ユキヤナギ植樹（図2-(2)-④） ⑤自宅の緑化（図3-(1)-②, ③）	(主な内容) ①HRG鍛冶橋口オベリスク（図1-④） ②HRG鉄パイプフェンスの緑化（図1-②） ③HRG子ども草地エリアづくり（図1-⑤） ④自宅の緑化（図3-(1)-②, ③）				
	合計額 (注9)	概算事業費 5,500	5,520	概算事業費 2,950	13,970			
		(助成見込額) (5000)	(助成見込額) (5018)	(助成見込額) (2675)	12,693			
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内		
	②診断書作成費	0	0	0	0			100%以内 (上限20千円/本)
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/本)	
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/本)	
	合計額 (注9)	概算事業費 0	概算事業費 0	概算事業費 0	0			
		(助成見込額) (0)	(助成見込額) (0)	(助成見込額) (0)	0			
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	255	380	320	955	①～④の合計 1,000千円以内 ／年度	100%以内	
	②広報・研修費	445	320	280	1,045		100%以内	
	③事務費	60	60	60	180		100%以内 (上限100千円/年度)	
	④諸雑費	40	40	40	120		100%以内 (上限40千円/年度)	
	合計額 (注9)	概算事業費 800	概算事業費 800	概算事業費 700	2,300			
		(助成見込額) (800)	(助成見込額) (800)	(助成見込額) (700)	2,300			
年度ごとの合計 (注4, 6, 7, 8)		概算事業費 6,300	概算事業費 6,320	概算事業費 3,650	総合計	16,270	助成見込額の3年度の 総合計が15,000千円以内	
		(助成見込額) 5,800	(助成見込額) 5,818	(助成見込額) 3,375		14,993		

（記入時の注意事項）

注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。

注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）

注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。

注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。

注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）

注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。

注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）

注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）

注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（ ）を付けてください。

農とふれあう場づくり

寺家ふるさと村

森の多様な機能に着目した森づくりの推進

寺家ふるさとの森



● 寺家ふるさと村 86.1ha（昭和 58 年指定）

「ふるさと村」は、良好な田園景観の保全と地域の活性化を目的に生産基盤の整備、研修施設などの設置、樹林地の保全活用などにより、市民が農業・自然・農村文化に親しむ場として整備している地域です。市独自の制度で、青葉区の寺家と戸塚区の舞岡の2か所が指定されています。ふるさと村では、横浜らしい里山景観を楽しめるだけでなく、四季を通じて様々な農作物の収穫体験や、地域の農畜産物を使った料理教室などが行われています。

寺家ふるさと村は、東京都町田市と川崎市に隣接し、雑木林の丘に挟まれた「谷戸田」と呼ばれる細長く伸びた水田が幾筋もある「昔ながらの横浜の田園風景」が色濃く残っているところです。

● 寺家ふるさとの森 約 12.4ha（昭和 58 年開園）

「寺家ふるさとの森」は寺家ふるさと村にある市民の森です。「市民の森」は、昭和 46 年度からスタートした横浜市独自の制度で、森を守り育てるとともに、土地所有者の方々のご協力により、市民の憩いの場として公開しています。

「寺家ふるさとの森」は東急田園都市線の整備により住宅地として急速に発達した街の中に残された緑地であり、横浜北部地域の原風景を見ることができます。丘陵地が侵食されてできた谷である「谷戸」が見られるほか、農業水を確保するためのため池も3つあり、四季折々でそれぞれの場所で異なる景色を楽しむことができます。

● 総合案内所「四季の家」

「四季の家」は寺家の自然を背景に、農業、自然、人文関係の展示紹介や研修、手造り食品（みそづくり等）の実習、天然記念物ミヤコタナゴの飼育展示、ふるさと村諸施設の案内、レストラン等、ふるさと村諸施設の中心的役割を担うものです。

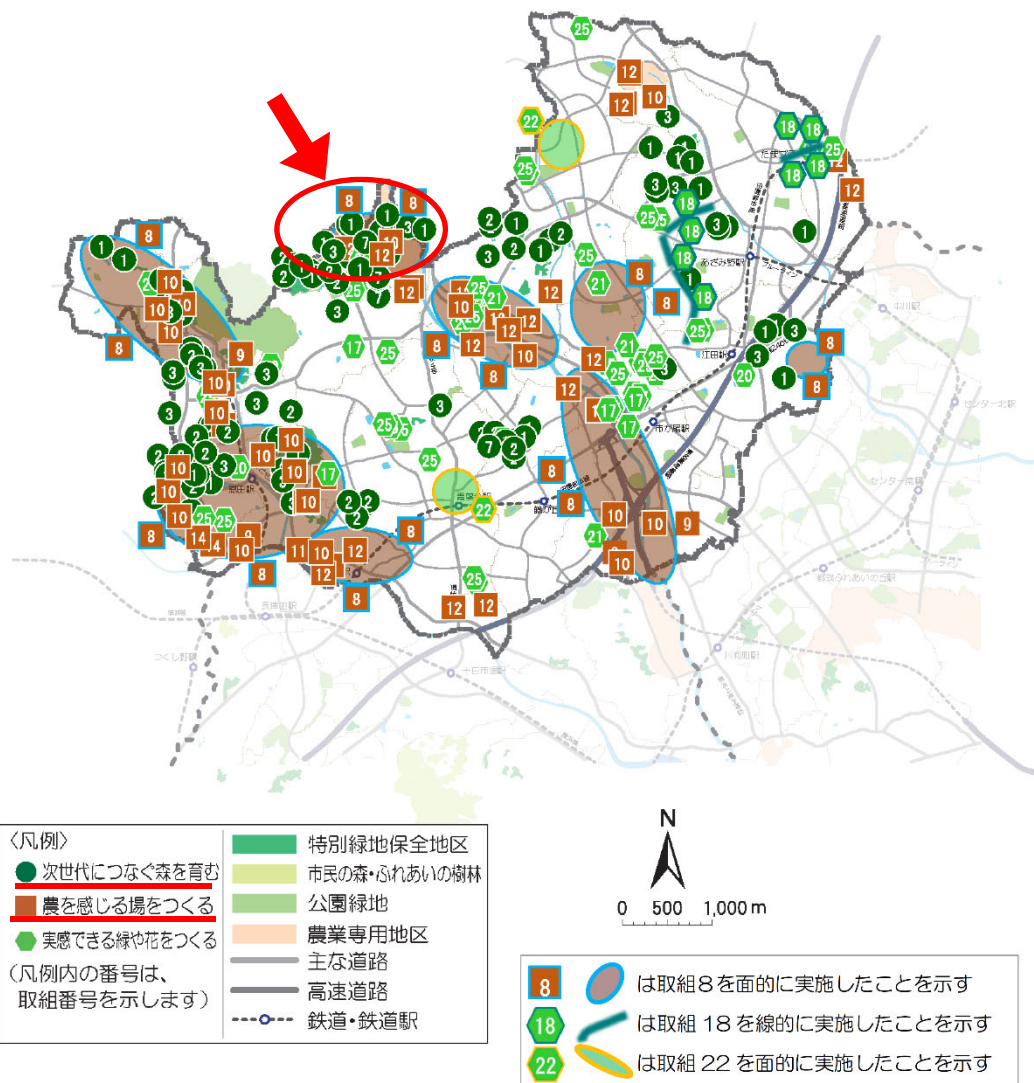
また森の情報発信の場である「ウェルカムセンター」として、森の生き物情報発信や自然体験行事、環境学習の機械の提供などを実施し、森に関わるきっかけづくりを行っています。



青葉区

主な実績

- ① 緑地保全制度による新規指定 12.05ha
- ⑧ 水田の保全 39.03ha
- ②⑤ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 23 か所



5 各区の実績
青葉区

計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 12.05ha

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2020年度 2.7ha 恩田町特別緑地保全地区（指定拡大）、寺家町居谷戸特別緑地保全地区

2021年度 2.5ha 寺家町居谷戸特別緑地保全地区（指定拡大）

2022年度 0.1ha 奈良町西ノ谷特別緑地保全地区（指定拡大）

・緑地保存地区

2019年度 0.03ha あざみ野四丁目、新石川二丁目

2020年度 0.02ha あざみ野四丁目

2021年度 1.5ha あざみ野一丁目、あざみ野二丁目

・源流の森保存地区

2019年度 0.3ha 鉄町

2020年度 0.9ha 荏田町（2か所）、恩田町、寺家町

2022年度 0.3ha 荏田町

2023年度 0.1ha 奈良町

・その他

2021年度 3.6ha 青葉鴨志田西地区

○市による買取り

・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2019年度 2地区 恩田東部特別緑地保全地区、奈良町西ノ谷特別緑地保全地区

2020年度 6地区 恩田町特別緑地保全地区、恩田東部特別緑地保全地区、鉄町下ノ谷戸特別緑地保全地区、寺家特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、元石川町平崎北特別緑地保全地区

2021年度 1地区 寺家町居谷戸特別緑地保全地区

2023年度 1地区 奈良町西ノ谷特別緑地保全地区

○保全した樹林地の整備 15か所

2019年度 1か所 恩田東部特別緑地保全地区

2020年度 3か所 恩田東部特別緑地保全地区、元石川町平崎特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2021年度 4か所 恩田東部特別緑地保全地区、鉄町富士塚台特別緑地保全地区、寺家町居谷戸特別緑地保全地区、もえぎ野ふれあいの樹林

2022年度 3か所 恩田町特別緑地保全地区、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林

2023年度 4か所 恩田町特別緑地保全地区、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、元石川町平崎特別緑地保全地区

2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 38 箇所

・維持管理（樹林地）

2019 年度	5 箇所	寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2020 年度	7 箇所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2021 年度	7 箇所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2022 年度	7 箇所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地
2023 年度	7 箇所	鉄町富士塚台特別緑地保全地区、（仮称）恩田市民の森、寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地、恩田町九郎治谷緑地

・維持管理（公園）

2019 年度	1 箇所	奈良山公園
2020 年度	1 箇所	奈良山公園
2021 年度	1 箇所	奈良山公園
2022 年度	1 箇所	鴨志田公園
2023 年度	1 箇所	奈良山公園

3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 39 件

2019 年度	9 件	あざみ野四丁目、恩田町、寺家町、すみよし台、たちばな台二丁目、奈良町（3件）、奈良町四丁目
2020 年度	12 件	あざみ野四丁目、荏田町（4件）、恩田町、鴨志田町、寺家町、奈良四丁目、奈良町（2件）、元石川町
2021 年度	3 件	あざみ野四丁目、恩田町、鉄町
2022 年度	7 件	荏田町、荏田北二丁目、恩田町、すみよし台、奈良町（2件）、奈良四丁目
2023 年度	8 件	あざみ野四丁目、寺家町（3件）、奈良四丁目（2件）、奈良町（2件）

5 各区の実績
青葉区

7 森に関する情報発信

〇ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等

2019年度	寺家ふるさと村四季の家
2020年度	寺家ふるさと村四季の家
2021年度	寺家ふるさと村四季の家
2022年度	寺家ふるさと村四季の家
2023年度	寺家ふるさと村四季の家

計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

8 水田の保全

〇水田保全面積 39.03ha

2019年度	37.96ha	市ケ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2020年度	38.27ha	市ケ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2021年度	38.49ha	市ケ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2022年度	39.19ha	市ケ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
2023年度	39.03ha	市ケ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町

〇水源・水路の確保 4か所

2019年度	2か所	苗万坂水利組合、恩田水利組合
2020年度	1か所	田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（杉山耕作組合）
2023年度	1か所	寺家水利組合

9 特定農業用施設保全契約の締結

〇特定農業用施設保全契約の締結 4件

2019年度	2件	恩田町、奈良町
2022年度	2件	市ケ尾町、千草台

10 農景観を良好に維持する活動の支援

○まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

・集団農地維持 128.9ha

2019 年度 120.6ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、鴨志田町上耕地水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2020 年度 121.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2021 年度 127.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合

2022 年度 129.2ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合、奈良土橋水利組合

2023 年度 128.9ha 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ヶ尾水利組合、上谷本地区農地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合、寺家ふるさと村体験農業振興組合、奈良土橋水利組合

※過年度報告書から面積を修正しました

・農地縁辺部への植栽 5 件

2019 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2020 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2021 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2022 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

2023 年度 1 件 田奈恵みの里推進委員会（緑区・青葉区）

寺家ふるさと村での農体験教室等の実施

横浜みどりアップ計画 5か年（2019～2023 年度）実績 38 回

＜実施内容＞みそ造り、そば打ち、体験水田

四季の家の取組例（JIKE マルシェ）

昔ながらの
横浜の田園風景が残る
「寺家ふるさと村」。

ＪＩＫＥマルシェは、
青葉区の
地産地消を
広めること、
農業を
持続可能に
していくこと、
未来世代に
この田園風景を
残していくこと
を目指して運営しています。

寺家ふるさと村
四季の家

**JIKE
マルシェ**

スケジュール

各日 10:30～14:30
2024年
6/25 (火) 7/23 (火)
10/22 (火) 12/3 (火)

新鮮野菜に地元食材を使ったお弁当や
スイーツに加工品のほか、花苗や雑貨
も並びます！

公式 SNS
フォローしてね！

Facebook Instagram

〔場所〕
寺家ふるさと村四季の家
(横浜市青葉区寺家町414)
アクセス 東急田園都市線
「青葉台」駅から徒歩
※公共交通機関をご利用いただきお越しください。

〈主催・問合せ〉四季の家 TEL 045-962-7414
〈協力〉横浜市みどり環境局・認定NPO法人森ノオト

横浜農場

